⑤ Gilwelpark　ギルウェルパーク

★ Chingford 駅

駅からゆるい坂道を歩いて 30 分過ぎ、高級住宅街を抜けると林の中に看板Ⓐを見つけた。ギルウェルパークの門をくぐり、事務所Ⓑにいくと１人の青年がいて、マンツーマンで敷地内を案内してもらった。
開設当時からの時計台Ⓒが現存している。敷地内にはアスレチックもいくつかあり、時間になると集合してボランティアスタッフが連れて行ってくれる。グッズ販売Ⓓのショップがある。
テントサイト、ファイヤー場もあり、ここは１人でも宿泊可能である。隣接のホワイトハウスⒺには食堂もある。ホワイトハウスはホテルや会議室として利用されている。利用客がいなかったので室内を見学させてもらった。Founder's room , Betty Clay's room もちゃっかりのぞいてきた。
2020 年に B.P. ミュージアムを作る予定で、現在は関連資料を BP ハウスなどからこちらに集められている。非公開のため、有名な角笛を見たかったけれど断念した。３年後にまた来てと言われる。ホワイトハウスの裏手には、ウッドバッジのトレイニングの広場Ⓕや　ロンドンブリッジ改築のとき持ち込んだという橋の欄干Ⓖがあった。

Ⓐ 看板まで３０分歩く

ギルウェルパークの入口の門

パーク内のボランティアスタッフ

Ⓑ
案内してくれた青年

トレイニング広場
各種アクティビティ

Ⓒ 開設当時からの時計台

Ⓓ ショップ内の様子

Ⓔ ホワイトハウス外観

Ⓕ トレイニング広場のビッグツリーの前で

Ⓖ ロンドンブリッジの昔の欄干

ファイヤー場

キャンプサイト